

発寒ひかり 保育園だより

2023年
11月号

巻頭言

「あかちゃんトントンしていいですか」と、いちごファミリーの子どもたちは、赤ちゃんとの触れ合いが大好きで、お昼寝の時間になると赤ちゃんの寝かしつけをしに来てくれます。「だっこじゃなくて、トントンだね」「マッサージしてあげるね」などと、保育士のように優しく語りかけています。

ある日、ばんび組（4歳児）のRちゃんが、S君（ひよこ組・0歳児）の寝かしつけをしていた時のことです。Rちゃんが寝かそうとしても、S君はまだまだ遊びたい気持ちが強い様子。布団から何度も起き上がり、なかなか寝付けないでいました。「Rちゃんどうするのかな・・・」と、私はもう少し2人の様子を見守ることにしました。するとRちゃんは、戸惑うことなく優しい笑顔で「まだ、ねたくないんだね」と声をかけ、S君と触れ合い遊びを始めたのです。S君はRちゃんと触れ合うたびに満面の笑顔で喜んでいました。しばらくやりとりを楽しんだS君は、その後満足そうな表情で眠りにつきましました。S君の気持ちを受け止め、寄り添いながらかわったRちゃんの様子に、改めて「子どもの気持ちに寄り添い共感する」大切さを感じました。

当園では、0～5歳児の異年齢保育を行っています。小さい頃は、年上の子に可愛がってもらい、大きくなると年下の子に自然と愛情を注ぎ、優しくかかわるようになる子どもたちの素敵姿が日々生まれています。今後も、愛情深いかかわりが伝承していくようにきかけを作ったり、必要な時には手を差し伸べながら、成長を見守っていきたいと思います。

いちごファミリー ことり組担任 橋 紀子